



東京製綱株式会社
TOKYO ROPE MFG.CO.,LTD.

2007年3月期 決算説明会

2007年6月1日

目次

07年3月期決算の概要

08年3月期の見通し

事業戦略の取り組み—中計「ネクスト771」の成果

今後の事業展開

07年3月期決算の概要

08年3月期の見通し

事業戦略の取り組み－中計「ネクスト771」の成果

今後の事業展開

2007年3月期決算のポイント

売上高は前年同期比微増

売上	スチールコード減少、開発製品(道路安全施設)増加
-----------	--------------------------

営業利益	スチールコード競争激化・国内橋梁悪化で減益
-------------	-----------------------

有利子負債	196億円まで減少(06年3月末比-38億円)
--------------	-------------------------

2007年3月期決算

スチールコード・国内橋梁の悪化が影響し増収減益

(単位:百万円)

	06/3	売上 高比	07/3	売上 高比	前期比		中間期 計画
売上高	68,428	-	69,193	-	+765	101.1%	70,000
営業利益	4,402	6.4%	3,881	5.6%	-521	88.2%	4,900
経常利益	4,012	5.9%	3,314	4.8%	-698	82.6%	4,400
当期純利益	2,139	3.1%	1,753	2.5%	-386	81.1%	2,200

セグメントの状況－売上高

鋼索鋼線： スチールコード販売量の減少と販売価格の下落

開発製品： 国内橋梁悪化するも道路安全施設が大幅増

(単位:百万円)

	06/3	構成比	07/3	構成比	前期比	
鋼索鋼線	39,283	57.4%	38,933	56.3%	-350	99.1%
開発製品	19,288	28.2%	20,080	29.0%	+792	104.1%
不動産	1,321	1.9%	1,377	2.0%	+56	104.2%
その他	8,535	12.5%	8,802	12.7%	+267	103.1%
合計	68,428	100.0%	69,193	100.0%	+765	101.1%

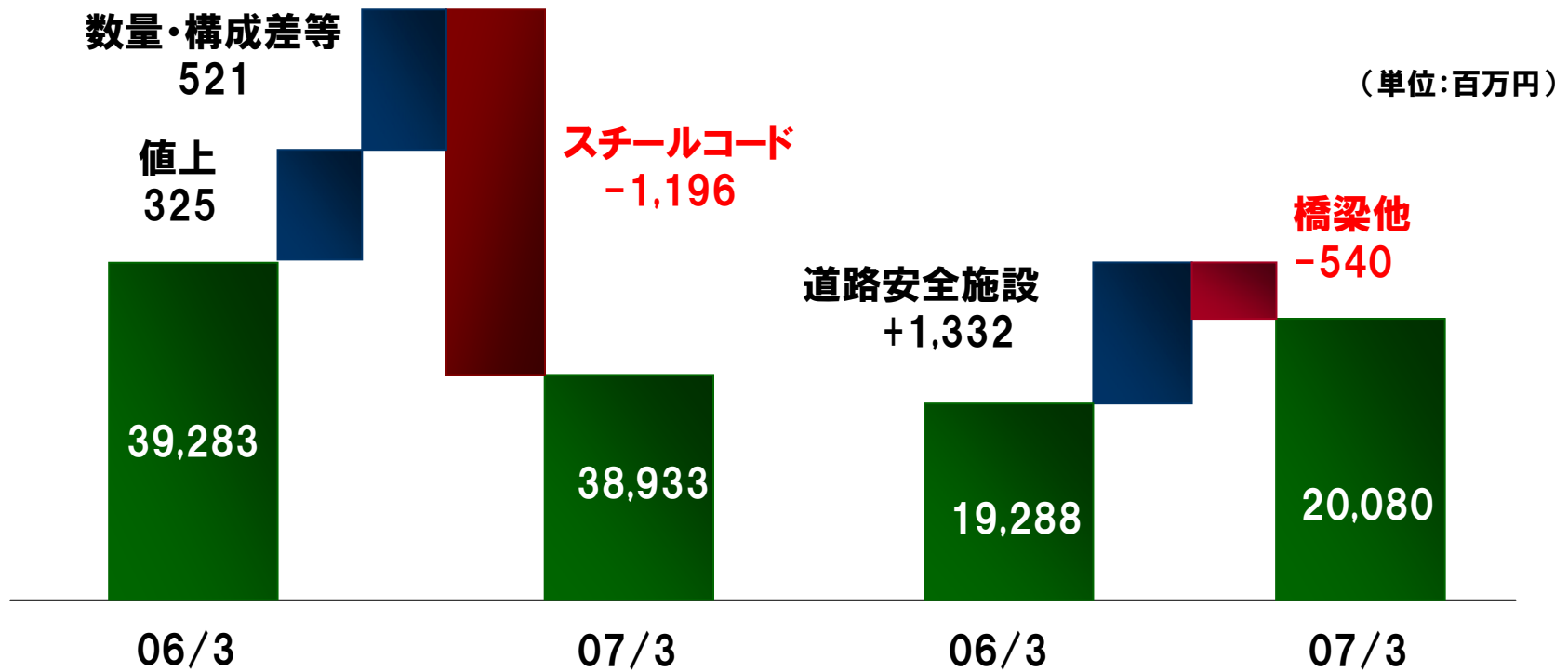
売上高増減要因分析 (07年3月期)

鋼索鋼線

開発製品

ワイヤ、ワイヤロープ、スチールコード、ソーワイヤ

道路安全施設、産業機械、橋梁など



セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	06/3		07/3		前期比	
		構成比		構成比		
鋼索鋼線	2,383	54.1%	1,839	47.4%	-544	77.2%
開発製品	1,121	25.5%	888	22.9%	-233	79.2%
不動産	704	16.0%	796	20.5%	+92	113.1%
その他	192	4.4%	357	9.2%	+165	185.9%
合計	4,402	100.0%	3,881	100.0%	-521	88.2%

営業利益増減要因分析(07年3月期)

鋼索鋼線： 材料価格アップ・競争激化・海外子会社立上げ
開発製品： 国内橋梁悪化

鋼 索 鋼 線

ワイヤ、ワイヤロープ、スチールコード、ソーワイヤ

数量増、業種・品種・構成
の改善238

製造コスト削減683

値上325

2,383

06/3

材料価格アップ
-656

スチールコード
-799

中国子会社
-335

1,839

07/3

開 発 製 品

道路安全施設、産業機械、橋梁など

(単位:百万円)

道路安全施設
+121

橋梁他
-354

1,121

06/3

888

07/3

07/3期 主要製品の状況

		07年3月期	
鋼索鋼線	ロープ・ワイヤ	○	堅調に推移
	スチールコード	△	競争激化で減収減益 ソーワイヤは堅調
開発製品	道路安全施設	○	受注増
	産業機械	○	ワイヤソー前年並み
	国内橋梁	×	受注環境悪化

損益計算書の概要

**材料価格アップと販売価格下落に伴う原価率上昇
中国子会社立上げに伴う販管費増**

(単位:百万円)

	06/3	売上高比	07/3	売上高比	前期比	
売上高	68,428	-	69,193	-	+765	101.1%
売上原価	55,012	80.4%	55,951	80.9%	+939	101.7%
売上総利益	13,416	19.6%	13,242	19.1%	-174	98.7%
販管費	9,013	13.2%	9,360	13.5%	+347	103.8%
営業利益	4,402	6.4%	3,881	5.6%	-521	88.2%
経常利益	4,012	5.9%	3,314	4.8%	-698	82.6%
当期純利益	2,139	3.1%	1,753	2.5%	-386	82.0%

キャッシュ・フロー

投資CF : 中国現法への投資(現預金の取崩)等
財務CF : 借入金返済・配当・自己株式の取得

(単位:百万円)

	06/3	07/3
現金及び現金同等物の期首残高	989	4,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,069	8,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,814	△6,497
フリー・キャッシュ・フロー	2,255	1,533
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,070	△5,036
現金・現金同等物の期末残高	4,368	1,051

07年3月期決算の概要

08年3月期の見通し

事業戦略の取り組みー中計「ネクスト771」の成果

今後の事業展開

2008年3月期見通し

増収増益を計画 : 売上高750億円、営業利益45億円

売上高 : 主に開発製品(産業機械含む)で増加

営業利益: 開発製品売上増により増益

当期利益: 役員退任慰労金廃止で過年度分を特損計上

	07/3 実績	売上高比	08/3 計画	売上高比	増減	
売上高	69,193	—	75,000	—	+5,807	108.4%
営業利益	3,881	5.6%	4,500	6.0%	+619	115.9%
経常利益	3,314	4.8%	4,000	5.3%	+686	120.7%
当期純利益	1,753	2.5%	1,800	2.4%	+47	102.7%

2008年3月期見通し(セグメント別売上高)

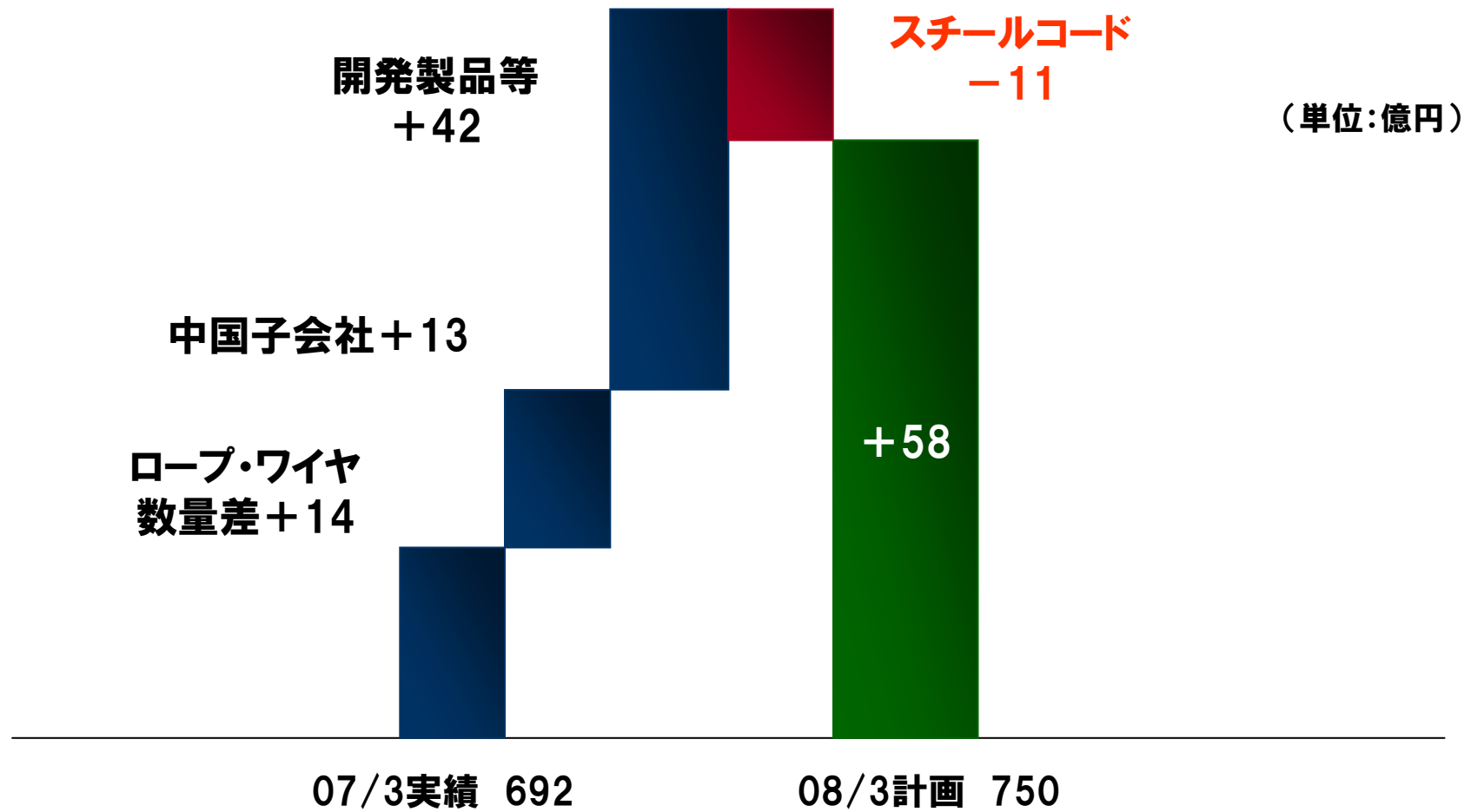
開発製品好調、鋼索鋼線堅調を見込む

開発製品： 産業機械・道路安全施設増加、国内橋梁回復

鋼索鋼線： ロープ・ワイヤ増加・スチールコード減少

	07/3 実績	構成比	08/3 計画	構成比	前期比	
鋼索鋼線	38,933	56.3%	40,500	54.0%	+1,567	104.0%
開発製品	20,080	29.0%	24,600	32.8%	+4,520	122.5%
不動産	1,377	2.0%	1,400	1.9%	+23	101.7%
その他	8,802	12.7%	8,500	11.3%	-302	96.6%
合計	69,193	100.0%	75,000	100.0%	+5,807	108.4%

売上高見通し分析 (08年3月期)



2008年3月期見通し(セグメント別営業利益)

**鋼索鋼線： ロープ・ワイヤは堅調
スチールコードは引き続き厳しい競争環境**

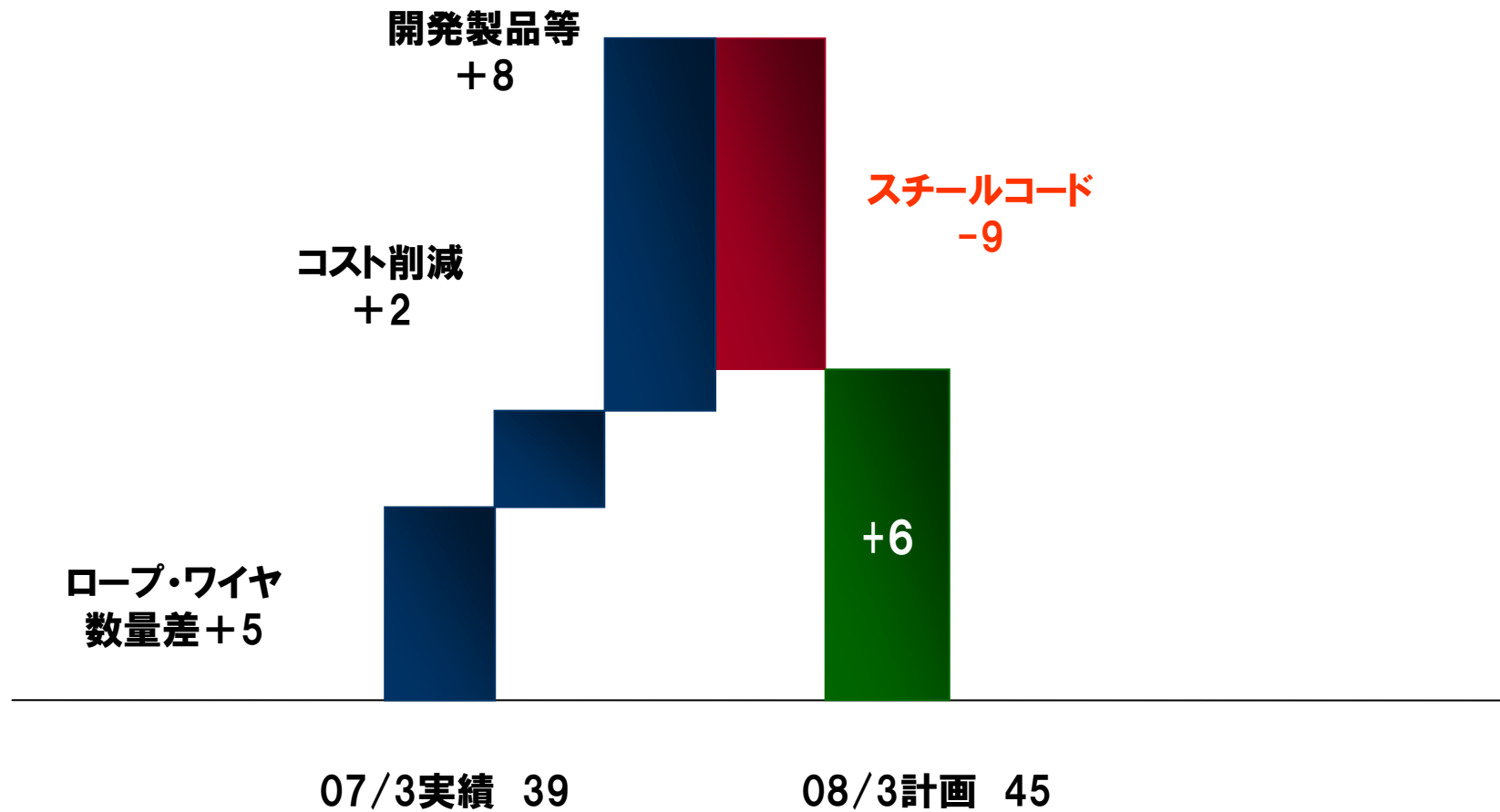
開発製品： 増収による増益(産業機械・道路安全施設)

(単位:百万円)

	07/3 実績	構成比	08/3 計画	構成比	前期比	
鋼 索 鋼 線	1,839	47.4%	1,650	36.7%	-189	89.7%
開 発 製 品	888	22.9%	1,750	38.9%	+862	197.1%
不 動 産	796	20.5%	800	17.8%	+4	100.5%
そ の 他	357	9.2%	300	6.6%	-57	84.0%
合 計	3,881	100.0%	4,500	100%	+619	115.9%

営業利益見通し分析(08年3月期)

(単位:億円)



主要製品見通し - ロープ・ワイヤに期待 -

07/3 → 08/3

ロープ・ワイヤ	○	◎	エレベーターロープ・ 海底ケーブル需要増
スチールコード	△	△	中国子会社に注力
産業機械	○	◎	ワイヤソーの増加
道路安全施設	○	◎	差別化商品の拡大で受注増
国内橋梁	×	△	事業環境回復で底を脱却

投資計画など - 積極投資を継続 -

設備投資： 中国子会社・既存設備の拡充等

減価償却費： 中国子会社・統合システムの償却開始等

従業員数： 中国子会社での増員中心

(単位:百万円)

	06/3 実績	07/3 実績	08/3 計画
設備投資額	4,383	6,405	4,000
減価償却費	2,892	3,091	3,600
研究開発費	682	739	800
従業員数(連結)	1,664	1,736	1,880

07年3月期決算の概要

08年3月期の見通し

事業戦略の取り組み — 中計「ネクスト771」の成果

今後の事業展開

中期経営計画『ネクスト771』で変化した当社

(2004年4月 ⇒ 2007年3月)

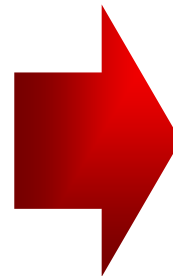
「7」 売上高の拡大(2006年度の売上高700億円以上)

「7」 収益力の強化(2006年度の売上高経常利益率7%以上)

「1」 総資産の圧縮(2006年度末までに100億円以上圧縮)

	04年3月期
売上高	647億円
経常利益率	5.2%
自己資本比率	37.8%
総資産	1,030億円
有利子負債	299億円

3年



07年3月期	「ネクスト771」 07年3月期目標
691億円	700億円以上
4.8%(33億円)	7%(49億円)以上
43.3%	45%以上
1,038億円	930億円以下
196億円	150億円以下

『ネクスト771』で実施したこと



飛躍的に拡大したソーワイヤ・ワイヤソー事業

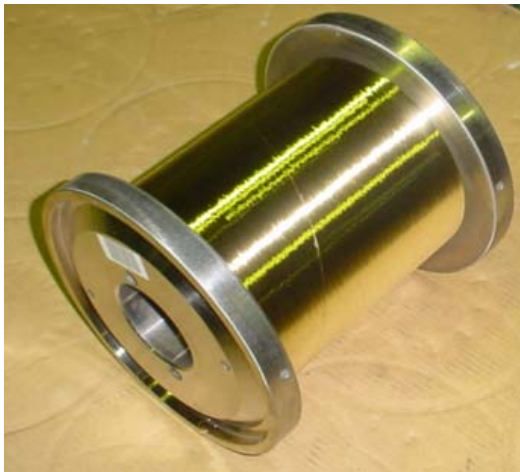
当社はワイヤ(鋼線)とソー(切断機)の双方を提供

ソーワイヤ



ワイヤソー

太陽電池市場の拡大とワイヤ/機械の相乗効果で計画を大きく上回る実績
(太陽電池世界生産量 2000年287MW → 2005年1700MW → 2010年(予)6,000MW超)



- ・ソーワイヤの細径化・高強度化
線材からの一貫開発で対応
- ・細径ワイヤ対応新型機械を開発

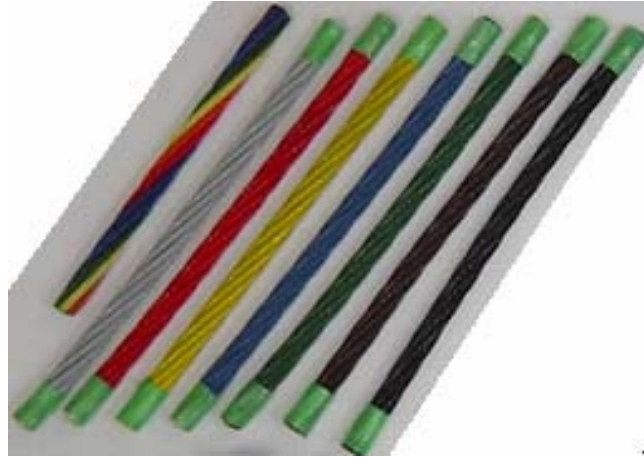


原料のポリシリコン生産体制増強で更なる需要増が期待
(現状31,000t→2008年55,000t→2010年72,000tと予測)

その他の高付加価値・差別化商品



高エネルギー吸収防護工
(高耐久アンカー)



特殊塗装
(タフコーティッド)



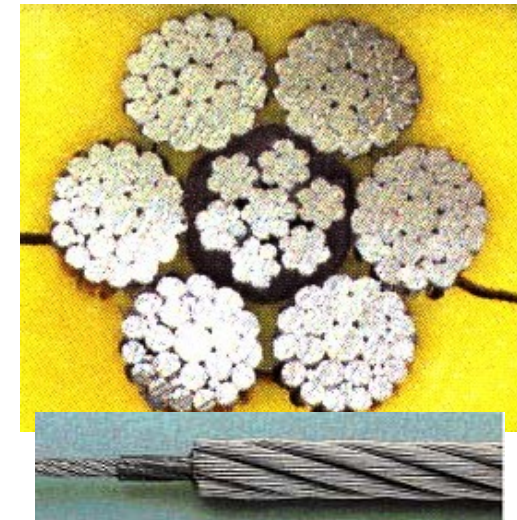
斜風・逆風対応防雪柵



アクリル板遮音壁



ロープテスター



スーパーコートロープ

海外市場進出が本格化(中国・ベトナム)

アジア市場睨み3現地法人設立

中国スチールコード工場

東京製綱(常州)有限公司(資本金60億円) 06年7月操業開始

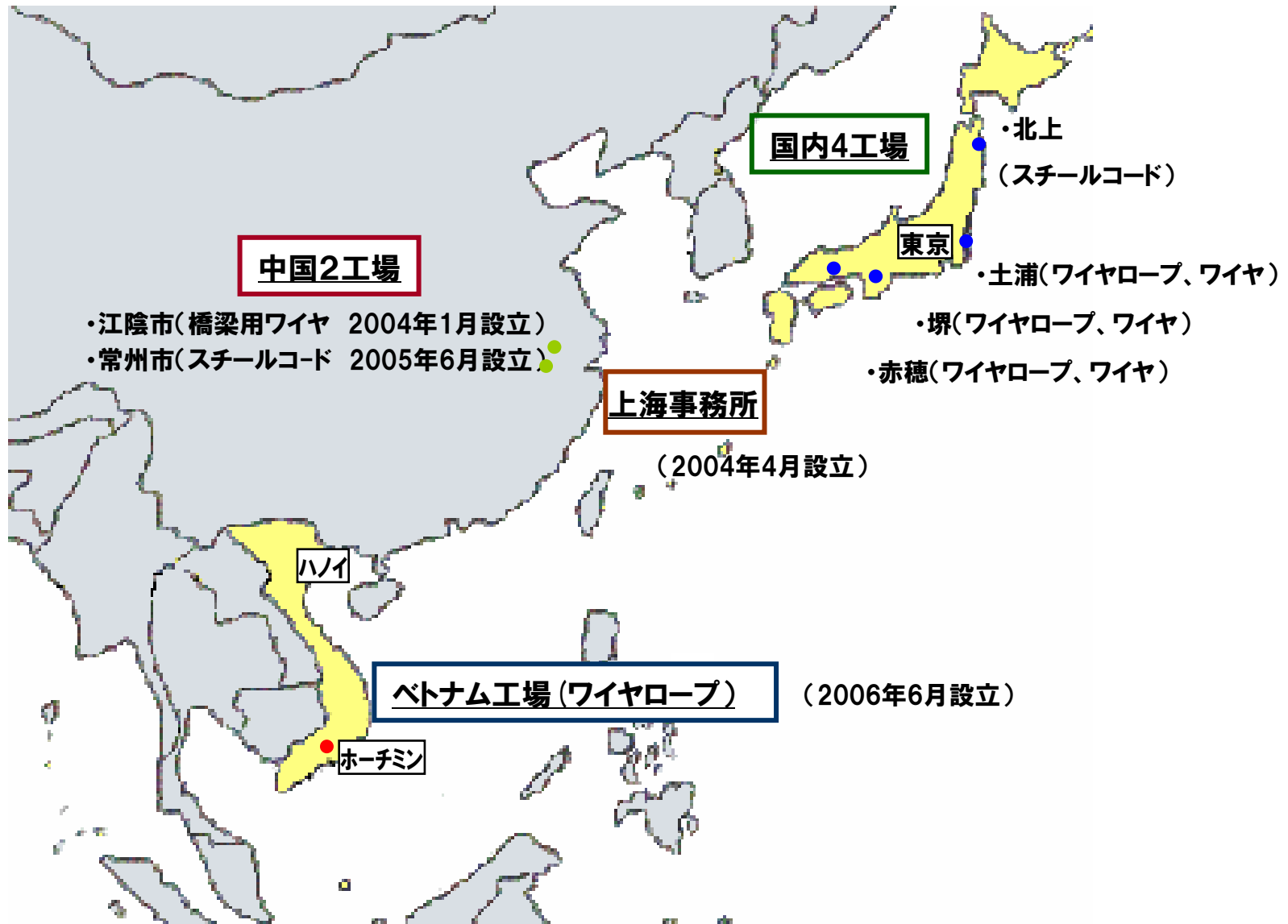
ベトナムワイヤロープ工場

東京製綱ベトナム有限責任会社(資本金6百万米ドル) 07年7月操業開始予定

中国橋梁用ワイヤ工場

江蘇双友東綱金属製品有限公司(日中合弁・当社30%) 04年9月操業開始
順調に移動中

3地域体制でカバーするアジア市場



07年3月期決算の概要

08年3月期の見通し

事業戦略の取り組み－中計「ネクスト771」の成果

今後の事業展開

再認識されたロープ市場

エレベータ事故の教訓



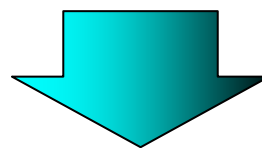
ロープ安全性重視
の浸透

- ①都市再開発
- ②重厚長大の復活
- ③社会インフラ再拡大



高層ビルエレベータ・造船・
製鉄所・コンテナクレーン
などロープ需要増加

ロープ交換頻度の増加(短期) → ロープ長寿命化へ(中長期)



長寿命ロープ開発と断線検知システムの充実

間近に迫った有望ロープ・ワイヤ関連プロジェクト

目先の収益回復に影響あるプロジェクトとして期待

首都圏再開発
プロジェクト関連
(エレベーターロープ)



光海底ケーブル新設
(ワイヤ)



今後敷設される光海底ケーブルプロジェクト

- Trans-Pacific Express
(中国-米国間 18,000km)
- Asia America Gateway
(マレーシア-米国間 20,000km) 等

羽田空港新滑走路建設工事
(ロープ・カットワイヤ)

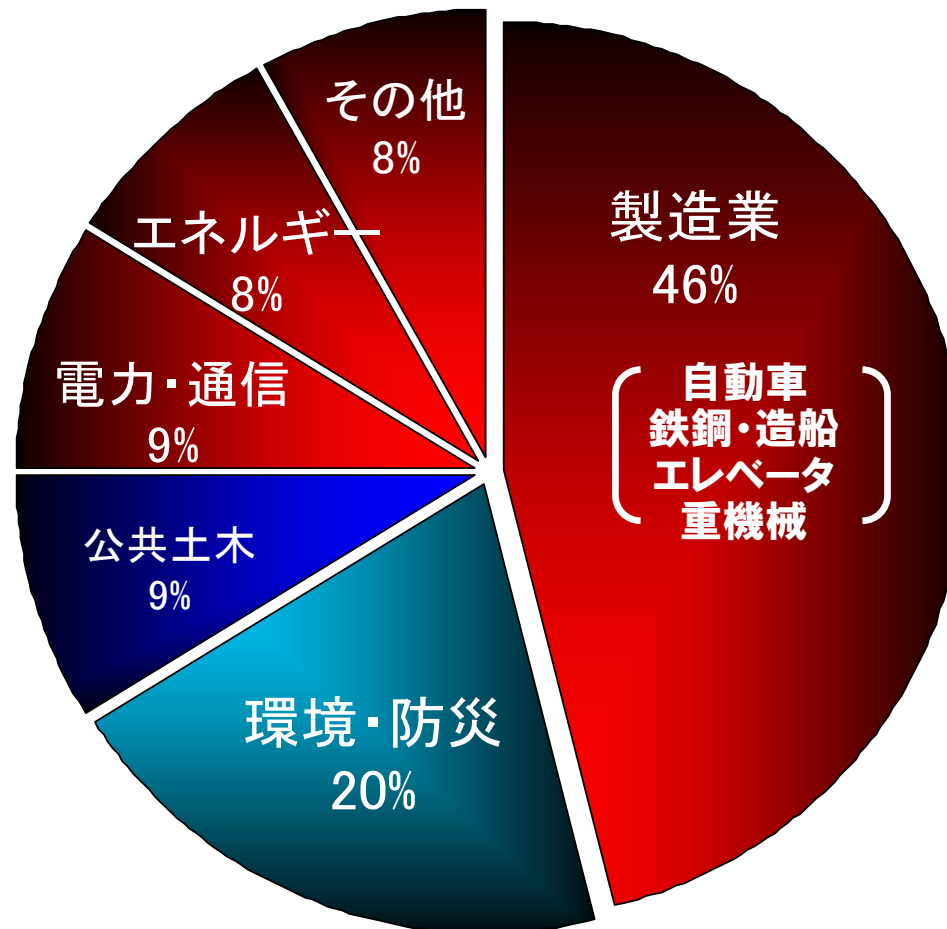


東北電力 十和田幹線新設(114km)
北上幹線新設(184km)
(鋼より線・延線用ロープ)

その他電力各社の設備投資増に対応

次期中期計画に向けて - 当社の需要構造 -

現状



「環境」「安全」「防災」「情報/エネルギー」関連で事業拡大

－製品戦略－

	セグメント	環境	安全	防災	情報/エネルギー
鋼索鋼線	スチールコード	○	○		
	ワイヤロープ(鋼索)		○	○	○
	ワイヤ(鋼線)	○		○	○
開発製品	道路・法面安全施設	○	○	○	
	橋梁	○			
	産業機械	○			○
その他	繊維ロープ	○	○	○	○
	石油				○

「環境」「安全」「防災」「情報/エネルギー」関連で事業拡大 -製品戦略-

	既存商品	ネクスト771	今後の展開
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーワイヤ・ワイヤソー ・タイヤコード ・落石防護施設 ・塩害地区コンクリート補強材 (炭素繊維) 	<ul style="list-style-type: none"> → 細径対応 → タフコーティッド商品 ・アクリル板遮音壁 	<ul style="list-style-type: none"> → 超高抗張力・細径化 普及・拡販
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターロープ ・ワイヤロープ ・繊維ロープ (命綱・係留索・水産) 	<ul style="list-style-type: none"> → 次世代エレベーターロープ エレベーター用ロープテスタ 	<ul style="list-style-type: none"> → 長寿命化 → 管理強化 → 樹脂複合・高抗張力化 → 細径・高強度化
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・落石防護施設 ・積雪地関連商品 (雪崩防止・防雪柵) ・炭素繊維アンカー (温泉地区 地すべり防止) 	<ul style="list-style-type: none"> → 高耐力アンカー エネルギー吸収ロープ → 斜風・逆風対応防雪柵 	<ul style="list-style-type: none"> → 高エネルギー吸収落石防護工 → 津波バリアなど 普及・拡販
情報/ エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・光海底ケーブル補強ワイヤ ・送・配電線補強ワイヤ ・携帯電話用アンテナ 	<ul style="list-style-type: none"> → 能力拡大 (炭素繊維) → 内蔵化 	<ul style="list-style-type: none"> → 拡大 → ワンセグ対応

事業強化のために — 新日鐵と緊密に連携 —

素材から一貫した共同研究・開発の推進

国内・海外事業におけるパートナーシップ

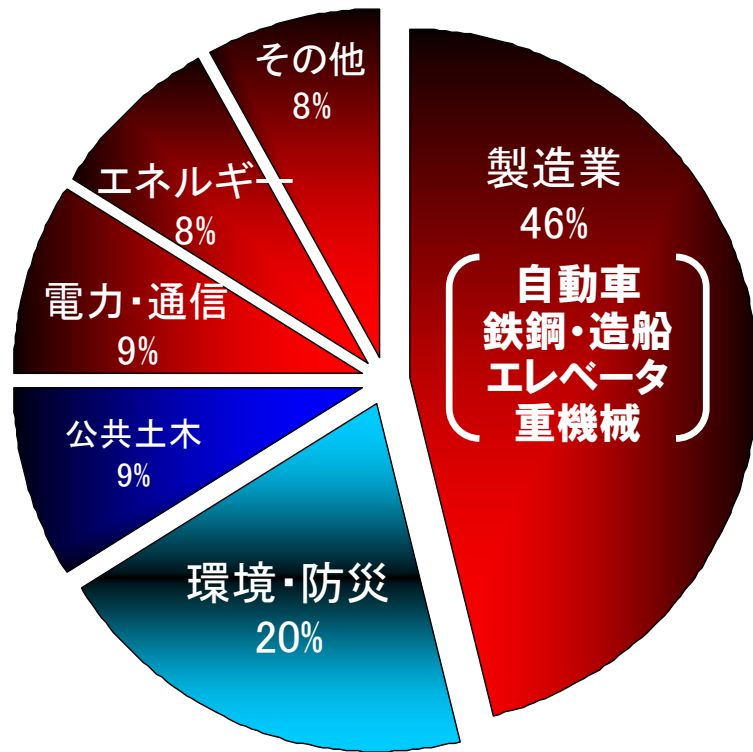
中国橋梁ワイヤ・スチールコード事業での共同出資

幅広いビジネスでの相互協力関係

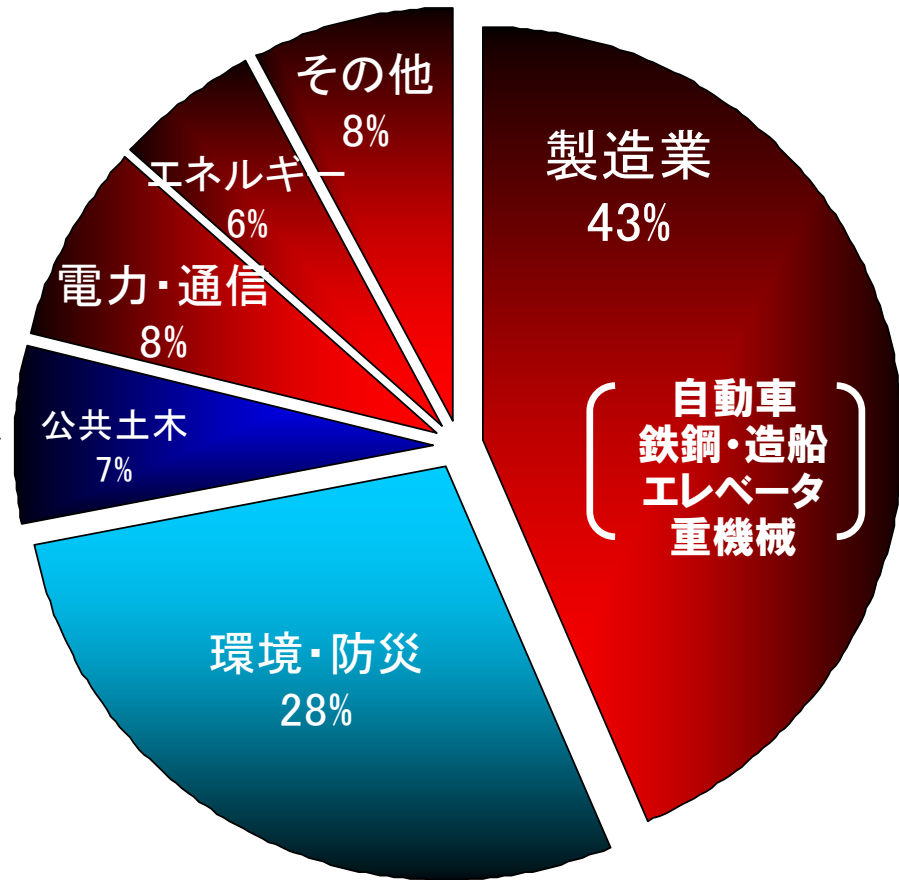
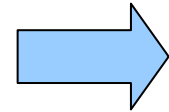
事業戦略の共有

次期中期計画の方向性

現状
(売上高692億)



次期中期計画目標
(売上高800億以上
経常利益率7%以上)



資本政策： 配当と自社株取得

	06年3月期 実績	07年3月期 実績
年間配当	2円50銭	2円50銭
連結配当性向	18.2%	22.0%
期末自己株式数	6,333千株	10,035千株

次期中期計画期間中に**連結配当性向30%以上**を目指す

自社株取得を継続的に実施

会社概要など(ご参考)

ロープ業界のリーディング・カンパニー

事業内容: ワイヤロープ、ワイヤ、タイヤ用スチールコード、
橋梁用ケーブル、繊維ロープの製造および販売、
落石防護施設・道路安全施設・橋梁などの設計・施工

上場: 東証1部 (コード番号:5981) 1949年上場
創業: 1887年(明治20年)4月1日
本社: 東京
支店: 大阪 名古屋 福岡 札幌 仙台
工場: 土浦 堺
海外: 上海事務所
売上高: 691億9343万円(2007年3月期)
資本金: 150億7416万円(2007年3月末)
社員数: 1,736名(2007年3月末)
関係会社: 連結子会社16社、非連結子会社6社、
関連会社6社(内持分法適用1社)

事業内容(07年3月期)

事業内容	製品・業務内容
<p data-bbox="405 539 837 592">鋼索鋼線関連事業</p> <p data-bbox="398 647 846 691">38,933百万円(56.3%)</p>	<p data-bbox="992 533 1608 683">ワイヤロープ、ワイヤ スチールタイヤコード、ソーワイヤ、 ホースワイヤ</p>
<p data-bbox="405 775 837 828">開発製品関連事業</p> <p data-bbox="398 884 846 927">20,080百万円(29.0%)</p>	<p data-bbox="992 769 1845 919">道路・法面安全施設、橋梁用ケーブル、橋梁、 CFCC(炭素繊維複合材ケーブル)、 産業機械、超硬合金、金属繊維、道路整備</p>
<p data-bbox="432 1011 810 1064">不動産関連事業</p> <p data-bbox="423 1120 819 1163">1,377百万円(2.0%)</p>	<p data-bbox="992 1059 1223 1102">不動産賃貸</p>
<p data-bbox="412 1254 831 1307">その他の関連事業</p> <p data-bbox="405 1362 837 1406">8,802百万円(12.7%)</p>	<p data-bbox="992 1302 1503 1345">繊維ロープ、石油製品販売</p>

主力製品(07年3月期)

「ロープ製造技術」を活かし社会ニーズにマッチした製品を提供

鋼索鋼線関連事業

スチールコード

ワイヤロープ(鋼索)

ワイヤ(鋼線)

開発製品関連事業

道路・法面安全施設

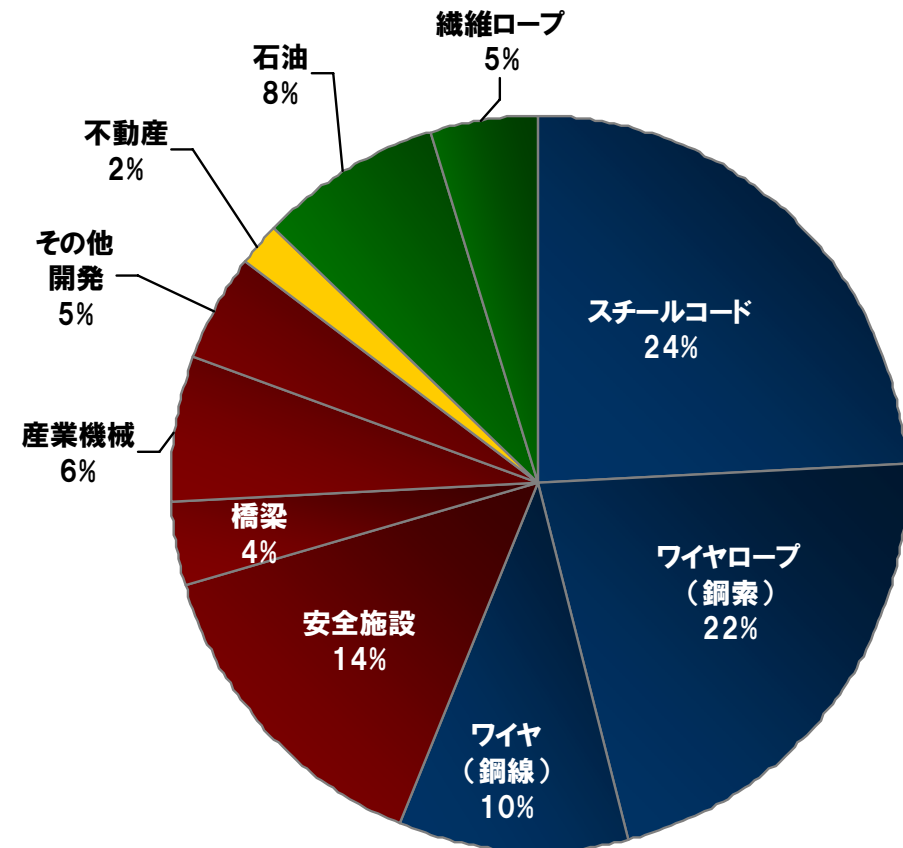
橋梁

産業機械

その他の関連事業

繊維ロープ

石油



ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

2007年6月

東京製綱株式会社